

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名						
医学教養						
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験	
柔道整復学科・昼間部	3年	4期	浮谷 英邦			
分野区分	教育課程			講義形式	単位	
専門基礎分野	保健医療福祉と柔道整復の理念			座学	1	
コマ数						
8						
科目概要						
柔道整復師が活躍する社会現場での社会保障制度ならびに職業倫理を学習します。医療人として、現在の我が国における医療経済や臨床現場での状況を学習します。						
目標						
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	患者やその家族を守り、患者を傷つけず、柔道整復師として医療従事者の使命を全うできるようになるために、社会生活とのかかわりのなかで形成されてきた職業倫理を修得する。					
	到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	1. 医療従事者としての心構え、仕事内容を理解し、医療人としてのモラルを自ら考え、実践することができる。				
2. すなわち生命倫理の流れから医療における従来の倫理観を身に付け、現代的倫理観に至るまでの経緯を説明できる。						
履修に必要な予備知識や技能						
2年次までに履修した関連科目は復習しておいてほしい。同時にアンテナを張り巡らせ、医学情報や時事問題にも関心を寄せて医学的教養を高める必要がある。						
教科書・参考書						
『社会保障制度と柔道整復師の職業倫理』p. 49～71						
受講上の注意						
必要な知識は授業内で把握する気持ちで、集中して臨んでください。						
成績評価方法						
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他
評価割合(%)	100					100
	選択問題 50問程度					
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物	
第1回	職業倫理とは			p.49～50	教科書・ノート	
第2回	医療における従来の倫理観から現代的倫理観への経緯			p.50～52	教科書・ノート	
第3回	インフォームド・コンセントとインフォームド・アセント			p.52～54	教科書・ノート	
第4回	医療従事者における守秘義務			p.54～55	教科書・ノート	
第5回	柔道整復師の社会的責任と対応			p.56～61	教科書・ノート	
第6回	グループ・ディスカッション事例 医療における情報と責任			p.62～65	教科書・ノート	
第7回	職業倫理資料			p.49～71	教科書・ノート	
第8回	試験				筆記用具	
実務経験と本講義との関連について						
メールアドレス						
ukiya@nihonisen.ac.jp						